調査項目F　　調査対象貨物の輸入取引に関する情報

|  |
| --- |
| * 本調査項目は、調査対象期間（2024年1月1日から2024年12月31日まで）において、**貴社と本邦の輸入者間における調査対象貨物の輸出取引が関連企業間の取引（「関連企業間の取引」については、「不当廉売関税の課税に関する調査への協力のお願い」【資料１】用語の定義（18）を参照）である場合**において、貴社と連合している輸入者（「不当廉売関税の課税に関する調査への協力のお願い」【資料１】用語の定義（19）を参照）（以下「連合輸入者」という。）により輸入される調査対象貨物の輸入価格について、具体的な情報を求めるものです。 * 上記日本向け販売には、貴社が日本に所在する連合輸入者に対して行う輸出販売のほか、貴社が貴国（調査対象貨物の輸出国、以下同じ。）に所在する関連企業である輸出者へ国内販売を行い、その後、当該輸出者により連合輸入者へ向けて輸出販売される場合の当該国内販売を含み、また、本支店間取引のように、同一の法人格を有する貴社又は貴社の関連企業である輸出者により輸出入される取引についても含まれますので、注意してください。 * 本調査項目は、「F-1 調査対象貨物の輸入概況」、「F-2 個別輸入取引」及び「F-3 調整が必要な費用項目」から構成されています。 * 回答作成に当たっては、現在ではなく、調査対象期間当時の事実に基づいて記載してください。また、調査対象期間中において変遷があるものについては、併せてその内容を時系列で詳細に回答してください。輸入者から非関連企業まで輸出入者の関連企業による複数の日本国内販売が行われる場合は、適宜回答欄を複製し、連合輸入者を輸出入者の関連企業、輸入を購入、輸入価格を日本国内購入価格と読み替えて、輸出入者の関連企業の日本国内購入価格に関して回答してください。なお、お願い紙【資料１】用語の定義において、「（８）購入：購入とは、輸入以外の購買をいう。」としておりますが、本調査項目における購入には、輸入に係る購買も含まれます。 * 回答は、各質問項目の下段に設けた回答欄に回答してください。なお、回答欄は必要に応じ拡大してください。 * 「F-2 個別輸入取引」及び「F-3 調整が必要な費用項目」では各質問項目への回答に加え、個別取引について**様式F**へ記入してください。 * 本調査項目の回答に対する政府の検証に正確を期すため、各質問の回答を作成する上で用いた資料及びその根拠となる書類の写しを、添付資料として提出してください（日本語訳を添付）。また、その添付資料名等を質問状に添付された「（別添）添付資料一覧表」に記入し提出してください。なお、添付資料には、必ず右肩に質問項目番号を明記し、同一質問項目番号に関する資料が複数に及ぶ場合は、書類の上部中央に根拠資料の連番を記載してください。どの質問項目に対する回答に係る根拠資料であるか明示されていない場合、提出したことが認識されない場合があります。 * 回答が無い場合は、数値に係るものは「0」、その他は「該当無し」としてください。空欄は、貴社が当該質問に対して回答する意思がないものとして取り扱います。 * 原則として、特段の指示がない限り、数量の回答に当たってはkg単位、金額の回答に当たっては自国の現地通貨単位（CNY単位又はTWD単位）で回答してください。（特段の指示がある場合を除き、トン単位、千CNY単位等は使用しないでください。） |

# 調査対象貨物の輸入概況

## 調査対象期間に貴社が日本向けに販売し、連合輸入者が輸入した調査対象貨物はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 有 |  | 無　→　調査項目F-1-2以降及び同Gへの回答は不要です。 |

　　　　↓

## 連合輸入者の名称、株式保有・役員派遣の状況等の関連の状況、業種及び所在地について**様式F-1-2**に記載してください。

## 連合輸入者、製品型番及び品種ごとの輸入概況を**様式F-1-3**に記載してください。

## 調査対象貨物の輸入契約について、連合輸入者ごとに、**様式F-1-4**に記載してください。また、購入交渉過程の代表例について、全ての段階を詳細に示す業務プロセスフローチャート（購入交渉過程の各段階の平均所要時間を明示）を**添付資料F-1-4**として提出してください（日本語訳を添付）。

## 連合輸入者ごとに、調査対象貨物の仕様、性質等は異なりましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 異なった |  | 異ならなかった →F-1-6へ |

　　 　↓

### その相違について具体的に説明してください。

|  |
| --- |
|  |

## 調査対象貨物が、生産者から、日本の産業上の使用者まで販売された経路について、連合輸入者ごとに、その名称及び所在地を**様式F-1-6**に説明してください。

## 調査対象貨物が、生産者から、日本の産業上の使用者まで輸送された経路について、連合輸入者ごとに、費用の支払者、輸送手段、輸送業者の名称、輸送日数及び発着地名を含め、**様式F-1-7-①から⑤**の該当するシートに記載してください。

# 個別輸入取引 　連合輸入者が輸入した調査対象貨物の全ての輸入取引について、以下回答してください。回答は**様式F**へ記入（F-2）願います。

### 下記の記載要領（F-2）に従い、調査対象期間に行われた全ての連合輸入者が行っ

た調査対象貨物の輸入取引について、**様式F**に記入してください。ただし、キャンセルされた取引についての記入は不要です。

* 1. 取引の引合いから入金に係る業務内容について、以下の回答欄に記載し、併せて使用する書類も列記してください。なお、業務内容については以下の業務内容欄より選び、選択肢にない場合には必要に応じて記載してください。

＜業務内容欄＞

|  |
| --- |
| 契約、注文、出荷、輸出申告、会計上の売上計上、請求、売上債権回収、会計上の入金計上 |

《記載例》

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ | ７ | ８ |
| 業務内容 | 契約 | 注文 | 出荷 | 輸出申告 | 会計上の売上計上 | 請求 | 売上債権回収 | 会計上の入金計上 |
| 使用する書類 | 契約書 | 注文書 | 出荷指示書  コマーシャル・インボイス  パッキングリスト  船荷証券 | 輸出申告書 | 会計伝票 | コマーシャル・インボイス | 金融機関の入金証票及びその明細 | 会計伝票 |

《回答欄》

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | ６ | ７ | ８ |
| 業務内容 |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 使用する書類 |  |  |  |  |  |  |  |  |

### **様式F**に回答した個々の取引について、当該回答の根拠となる書類の写しを**添**

**付資料F-2（2）**として提出してください（日本語訳を添付）。その際、以下の点に留

意してください。

（１）提出の対象は、関連企業及び非関連企業ごとに取引量の多い上位３者の取引先それぞれについて、取引量が最も多い取引各１件です。**様式F**記載の取引のうち、どの取引に係るものか分かるよう、**様式F**の取引通番を書類の左肩に明記してください。

* 1. 提出書類は、F-2-1-1（1）で使用する書類として回答した各書類を全て提出してください。
  2. 記入が必要とされる項目については、下記の記載要領（F-2）（一般的事項及び販売項目）に従い、記入してください。

（記載要領（F-2）（一般的事項））

1. 全て半角英数字で記入し、数値を記入する際は通貨、数量等の単位を明記してください。
2. 調査対象貨物の輸入取引1件が、複数回に分けて日本において輸入されるような場合には、**様式F**の行を追加するなどして、各取引段階における相関関係が分かるように記載してください。
3. 各項目を記入するに当たり、コードを用いて入力する場合には、コード表を提出してください。その際、どの項目についてのコード表であるか分かるように、当該コード表の右肩に質問項目番号を明記してください（例えば、「F-2-12（引受場所コード）」欄についてのコード表を提出する場合は「**添付資料F-2-12**」と明記してください。）。また、可能な限り当該コード表を電磁的記録媒体でも提出してください。

（記載要領（F-2）（個別購入項目））

| 購入項目 | | 概　　要 | 記載要領 |
| --- | --- | --- | --- |
| F-2-1-1 | 輸出元名称 | 連合輸入者の輸出元の名称 | 連合輸入者の輸出元の名称を記入 |
| F-2-1-2 | 輸出元の関連状況 | 連合輸入者の輸出元は、貴社の関連企業であったか否かの区分 | 以下の区分より選択  A：関連企業  B：非関連企業 |
| F-2-1-3 | 輸出元業種 | 連合輸入者の輸出元の業種 | 以下の区分より選択  A:輸出者かつ生産者  B:輸出者（生産者でない） |
| F-2-1-4 | 社内管理番号 | 社内で購入データ等を統一的に管理している番号（リファレンス番号等） | 社内で購入データ等を統一的に管理している番号（リファレンス番号等）を記入 |
| F-2-2-1 | 生産者名称 | 調査対象貨物の生産者の名称 | 調査対象貨物の生産者の名称を記入  なお、生産者が複数存在する場合は便宜「F-2-2-1（生産者名称）」欄の次に「F-2-2-1a（生産者名称a）」、「F-2-2-1b（生産者名称b）」のように欄を追加してください。（以下同様） |
| F-2-2-2 | 生産者関連状況 | F-2-2-1の生産者は、  F-2-3-1貴国内流通業者（輸出者以外）、F-2-4-1輸出者、F-2-5-1輸入者、F-2-6-1日本国内流通業者（輸入者以外）及びF-2-7-1産業上の使用者の関連企業であったか否かの区分 | 以下の区分により記入  A2：生産者の関連企業  （A2-a：「F-2-2-1a（生産者名称a）」欄が追加された場合において、生産者名称aの関連企業。以下同様）  A3：貴国内流通業者（輸出者以外）の関連企業  A4：輸出者の関連企業  A5：輸入者の関連企業  A6：日本国内流通業者（輸入者以外）の関連企業  A7：産業上の使用者の関連企業  B：非関連企業  複数該当：例えば、A2、A2-a及びA4など複数該当する場合 |
| F-2-3-1 | 貴国内流通業者（輸出者以外）名称 | 貴国内に所在する流通事業者（輸出者以外）の名称 | 貴国内に所在する流通事業者（輸出者以外）の名称を記入 |
| F-2-3-2 | 貴国内流通業者（輸出者以外）関連状況 | F-2-3-1の貴国内流通業者（輸出者以外）は、F-2-2-1生産者、F-2-4-1輸出者、F-2-5-1輸入者、F-2-6-1日本国内流通業者及びF-2-7-1産業上の使用者の関連企業であったか否かの区分 | （F-2-2-2に同じ） |
| F-2-4-1 | 輸出者 | 輸出者の名称 | 輸出者の名称を記入 |
| F-2-4-2 | 輸出者関連状況 | F-2-4-1の輸出者は、  F-2-2-1生産者、F-2-3-1貴国内流通業者（輸出者以外）、F-2-5-1輸入者、F-2-6-1日本国内流通業者（輸入者以外）及びF-2-7-1産業上の使用者の関連企業であったか否かの区分 | （F-2-2-2に同じ） |
| F-2-5-1 | 輸入者 | 輸入者の名称 | 輸入者の名称を記入 |
| F-2-5-2 | 輸入者関連状況 | F-2-5-1の輸入者は、F-2-2-1生産者、F-2-3-1貴国内流通業者（輸出者以外）、F-2-4-1輸出者、F-2-6-1日本国内流通業者（輸入者以外）及びF-2-7-1産業上の使用者の関連企業であったか否かの区分 | （F-2-2-2に同じ） |
| F-2-6-1 | 日本国内流通業者（輸入者以外） | 日本国内に所在する流通業者（輸入者以外）の名称 | 日本国内に所在する流通業者（輸入者以外）の名称を記入 |
| F-2-6-2 | 日本国内流通業者（輸入者以外）関連状況 | F-2-6-1の日本国内流通業者は、F-2-2-1生産者、F-2-3-1貴国内流通業者（輸出者以外）、F-2-4-1輸出者、F-2-6-1日本国内流通業者（輸入者以外）及びF-2-7-1産業上の使用者の関連企業であったか否かの区分 | （F-2-2-2に同じ） |
| F-2-7-1 | 産業上の使用者名称 | 日本の産業上の使用者の名称 | 日本の産業上の使用者名称を記入 |
| F-2-7-2 | 産業上の使用者関連状況 | F-2-7-1の産業上の使用者は、 F-2-2-1生産者、F-2-3-1貴国内流通業者（輸出者以外）、F-2-4-1輸出者、F-2-6-1日本国内流通業者（輸入者以外）及びF-2-7-1産業上の使用者の関連企業であったか否かの区分 | （F-2-2-2に同じ） |
| F-2-8 | 製品型番コード | 連合輸入者が使用している製品型番 | 任意のコードで記入  ※コード表を**添付資料F-2-8-①**として提出してください。 B-2-8と異なる場合は、B-2-8とF-2-8の対照表を**添付資料F-2-8-②**として提出してください。 |
| F-2-9-1 | 品種コード①（規格） | 調査対象貨物の品種コード①（規格） | 当該品種の規格を以下の区分により記入  01：JIS規格  02：AISI規格  03：EN規格  04：GB規格(中国国家規格)  05：その他（01から04のいずれにも分類することができない各メーカーの独自規格）  ※05がある場合は、規格が分かる資料を**添付資料F-2-9-1**として提出してください。 |
| F-2-9-2 | 品種コード②（鋼種） | 調査対象貨物の品種コード②（鋼種） | 当該品種の鋼種を具体的に記入（例えば、「SUS304」など） |
| F-2-9-3 | 品種コード③（形態） | 調査対象貨物の品種コード③（形態） | 当該品種の形態を以下の区分により記入  01：鋼帯  02：鋼板（鋼帯を切断したもの（長方形（正方形を含む。）のもの））  03：鋼板（鋼帯を切断したもの（02以外のもの）） |
| F-2-9-4 | 品種コード④（厚み） | 調査対象貨物の品種コード④（厚み） | 当該品種の厚みを以下の区分により記入  01：0.10mm未満  02：0.10mm以上0.15mm未満  03：0.15mm以上0.20mm未満  04：0.20mm以上0.25mm未満  05：0.25mm以上0.30mm未満  06：0.30mm以上0.40mm未満  07：0.40mm以上0.50mm未満  08：0.50mm以上0.80mm未満  09：0.80mm以上1.20mm未満  10：1.20mm以上2.00mm未満  11：2.00mm以上4.00mm未満  12：4.00mm以上 |
| F-2-9-5 | 品種コード⑤（幅） | 調査対象貨物の品種コード⑤（幅） | 当該品種の幅を以下の区分により記入  01：600mm未満  02：600mm以上 |
| F-2-9-6 | 品種コード⑥（エッジの状態） | 調査対象貨物の品種コード⑥（エッジの状態） | 当該品種のエッジの状態を以下の区分により記入 01：ミルエッジ  02：カットエッジ（スリットエッジ） |
| F-2-9-7 | 品種コード⑦（硬化させるための調質圧延状態） | 調査対象貨物の品種コード⑦（硬化させるための調質圧延状態） | 当該品種の硬化させるための調質圧延状態を以下の区分により記入 01：1/4H  02：1/2H  03：3/4H  04：H  05：その他（具体的な調質記号を記入してください）  06：硬化させるための調質圧延を行っていない  ※05がある場合は、硬化させるための調質圧延状態が分かる資料を**添付資料F-2-9-7**として提出してください。 |
| F-2-9-8 | 品種コード⑧（表面仕上げ） | 調査対象貨物の品種コード⑧（表面仕上げ） | 当該品種の表面仕上げを以下の区分により記入  01：No.2D  （冷間圧延後、熱処理を行い、酸洗又はこれに準じる処理を行って仕上げたもの。また、つや消しロールによって、最後に軽く冷間圧延したものも含める。）  02：No.2B  （冷間圧延後、熱処理を行い、酸洗又はこれに準じる処理を行った後、適切な光沢を得る程度に冷間圧延して仕上げたもの。）  03：No.2BB  （No.2Bより光沢があるように仕上げたもの。）04：BA（BA0）  （冷間圧延後、光輝熱処理を行ったもの。）  05：BAW  （BAの上級品のもの。）  06：BA1  （BAの反射率の高いもの。）  07：BA2  （BAに鏡面研磨を施したもの。）  08：BA3  （表裏両面BA仕上げしたもの。）  09：LB  （BA仕上げの最上級品のもの。）  10：毛面  （特殊なロールで表面を研磨したもの。）  11：HL  （適切な粒度の研磨材で連続した磨き目が付くように研磨して仕上げたもの。）  12：No.3  （JIS R 6010によるP100－P120で研磨して仕上げたもの。）  13：No.4  （JIS R 6010によるP150－P180で研磨して仕上げたもの。）  14：SB  （スコッチブライト/No.4に特殊な光沢処理を施したもの。）  15：7R  （研磨仕上げしたもの。）  16：BQ  （鏡面仕上げしたもの。）  17：#240  （JIS R 6010によるP240で研磨して仕上げたもの。）  18：#320  （JIS R 6010によるP320で研磨して仕上げたもの。）  19：#400  （JIS R 6010によるP400で研磨して仕上げたもの。）  20：その他（具体的に記入してください）  ※20がある場合は、表面仕上げが分かる資料を添付資料**添付資料F-2-9-8**として提出してください。 |
| F-2-9-9 | 品種コード⑨（表面処理） | 調査対象貨物の品種コード⑨（表面処理） | 当該品種の表面処理を以下の区分により記入  01：エンボス加工  02：発色加工  03：その他（具体的に記入してください）  04：表面処理を行っていない  ※03がある場合は、表面処理が分かる資料を**添付資料F-2-9-9**として提出してください。 |
| F-2-9-10 | 品種コード⑩（標準仕様への準拠） | 調査対象貨物の品種コード⑩（標準仕様への準拠） | 当該品種の標準仕様への準拠を以下の区分により記入  01：1級品（プライム）  （標準的な仕様に従って試験が行われ、標準仕様に準拠している）  02：2級品（ノンプライム又はセカンド）  （化学組成、機械特性又は寸法公差などに関する標準仕様に準拠していない） |
| F-2-10 | インボイス番号 | 輸出者から連合輸入者に送付されたコマーシャル・インボイスの番号 | 輸出者から連合輸入者送付されたコマーシャル・インボイスの番号を記入 |
| F-2-11-1 | 購入日 | 「不当廉売関税の課税に関する調査への協力のお願い」【資料１】用語の定義（17）販売日に該当する日 | 西暦YYYY年MM月DD日の場合、YYYY/MM/DDと記入 |
| F-2-11-2 | 会計上の購入（仕入）計上日 | 会計帳簿上の購入（仕入）計上日 | 西暦YYYY年MM月DD日の場合、YYYY/MM/DDと記入 |
| F-2-11-3 | 契約日 | 契約書（Sales Contract）の日付 | 西暦YYYY年MM月DD日の場合、YYYY/MM/DDと記入 |
| F-2-11-4 | 受注日 | 注文書（Purchase Order）の日付 | 西暦YYYY年MM月DD日の場合、YYYY/MM/DDと記入 |
| F-2-11-5 | インボイスの日付 | F-2-10コマーシャル・インボイスに記載された日付 | 西暦YYYY年MM月DD日の場合、YYYY/MM/DDと記入 |
| F-2-11-6 | 船荷証券の日付 | 船荷証券に記載の日付 | 西暦YYYY年MM月DD日の場合、YYYY/MM/DDと記入 |
| F-2-12 | 引受場所コード | 調査対象貨物を引受けた場所の名称及び所在地等 | 任意のコードで記入  ※コード表を**添付資料F-2-12**として提出してください。 |
| F-2-13-1 | 積出地（港）コード | 日本へ向けて輸出された調査対象貨物を積載した船舶・航空機等が出港した場所又は港のコード | UN/LOCODE(国連ロコード) 英字5桁で「CNSHA」（上海）のように記入  UN/LOCODEについては、以下のwebサイトを参照  https://unece.org/trade/cefact/unlocode-code-list-country-and-territory |
| F-2-13-2 | 中継地（港）コード | 日本への輸送途上において、積換え、一時保管等のために中継地となった場所又は港のコード | F-2-13-1に同じ |
| F-2-13-3 | 輸入地（港）コード | 日本国内の輸入地の場所又は港のコード | F-2-13-1に同じ |
| F-2-14 | 入荷場所コード | 連合輸入者の入荷場所である倉庫等の名称及び所在地等 | 任意のコードで記入  ※コード表を**添付資料F-2-14**として提出してください。 |
| F-2-15 | 貿易取引条件 | FOB・CIF等の貿易取引条件 | Incotermsを記入。※米国貿易定義等Incotermsで取引していない場合は、貴社が使用している貿易取引条件についての説明資料を**添付資料F-2-15**として提出してください。 |
| F-2-16-1 | 通貨単位 | F-2-10のインボイスに記載の通貨単位 | ISO4217 の通貨コード英字3桁で「USD」（米ドル）、「CNY」（中国元）等のように記入 |
| F-2-16-2 | グロス購入価格 | F-2-10のインボイスに記載のグロス購入価格 | インボイスに記載されたグロスの購入価格を記入  ※1なお、企業グループとしての回答を行う場合は「F-2-16-2（グロス購入価格）」欄の次に「F-2-16-2-a（グロス購入価格a）」、「F-2-16-2-b（グロス購入価格b）」のように欄を追加して企業グループ内のグロス購入価格を追記してください。  ※2グロス購入価格は内国間接税を含んだ金額としてください。なお、内国間接税が減額、免除又は払い戻された場合には、減額、免除又は払い戻された分の内国間接税を控除した金額としてください。 |
| F-2-16-3 | グロス購入単価 | F-2-16-2（グロス購入価格）÷F-2-17（購入数量） | 小数点以下第3位を四捨五入し第2位まで表示 |
| F-2-17 | 購入数量 | F-2-10のインボイスに記載の数量 | 単位は（kg）で記入 |
| F-2-18-1 | 決済手段 | 決済手段 | 以下の区分により記入  01：L/C（信用状）  02：D/P（手形支払書類渡し）  03：D/A（手形引受書類渡し）  04：T/T（電信送金）  05：M/T（郵便送金）  06：D/D（送金小切手）  07：（その他）  「01」から「06」に該当しない場合に品種決済手段の内容を「07その他（○○）」のように記入  複数ある場合は新しくコードを設け、同様に品種決済手段の内容を記入  （「07その他（○○）」、「08その他（○○）」）  ※コード表及び当該その他の決済手段の内容についての説明資料を**添付資料F-2-18-1**として提出してください。 |
| F-2-18-2 | 支払日（決済日） | 連合輸入者の購入代金の支払日 | 西暦YYYY年MM月DD日の場合、YYYY/MM/DDと記入 |
| F-2-18-3 | 支払金額 | 購入代金として実際に支払った額 |  |
| F-2-19-1 | 支払通貨単位 | 支払う購入代金の通貨単位 | ISO4217の通貨コード 英字3桁で「USD」（米ドル）、「CNY」（中国元）等のように記入 |
| F-2-19-2 | 支払換算レート | 購入代金を支払う際、支払通貨に換算したレート | 支払う購入代金の通貨単位が日本円ではない場合に、支払通貨に換算したレートを記入 |
| F-2-19-3 | 支払換算レート適用基準日 | 購入代金を支払う際、支払通貨に換算したレートの適用基準日 | 購入代金を支払う際、支払通貨に換算したレートの適用基準日を記入 |
| F-2-19-4 | 支払換算レート種類 | 購入代金を支払う際、支払通貨に換算したレートの種類 | 「Forward Rate（先物為替相場）」「TTB（電信買相場）」「A/S（信用状付一覧払い輸出手形買相場）」等を記入  ※当該レートの種類についての説明資料を**添付資料F-2-19-4**として提出してください。 |

（注）１.　 金額等を算出した際には、小数点以下第3位を四捨五入し第2位まで表示してください。

　　　２.　 金額を記入する際には、最小通貨単位まで表示することとし、記入要領に通貨単位が指定されていない場合は、通貨単位が分かるように、ISO4217の通貨コード英字3桁（例：USD、CNY等）を、**様式F**の項目名の下に記入してください。

　　　３.　 **様式F**の1つの欄を複数に分割する必要がある場合は、（欄番号）、(欄番号)-a、（欄番号）-bのようにして区分してください。

## **様式F**の「F-2-16-2（グロス購入価格）」欄に関する事項 他の取引との相殺等により、購入金額と決済金額とが異なるものがありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 異なるものがあった |  | 異なるものはなかった →F-2-2-2へ |

　　 　↓

### その事情について具体的に説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 購入金額と決済金額について、その根拠となる書類（請求書及び送金銀行記録等並びに会計処理の内容を示す仕訳伝票等）の写しを**添付資料F-2-16-2（F-2-2-2）**として提出してください（日本語訳を添付）。

### 連合輸入者の輸出元ごとに、当該購入単価について、非関連企業から輸入した場合との比較において、その相違の有無・程度について説明してください。また、その根拠となる書類（輸入した調査対象貨物と同じ型番等の製品を、非関連企業であった者から輸入した際の、契約書や製品規格書等）の写しを**添付資料F-2-16-2（F-2-2-3）**として提出してください（日本語訳を添付）。

輸出元名称：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 輸入した型番 | 非関連企業である他の輸出元名称 | 購入単価の相違の有無・程度 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

## **様式F**の「F-2-18-2支払日（決済日）」欄に関する事項 　　連合輸入者の輸出元への購入代金の支払いに関して、決済期日の起算日（購入日、輸入日等）、決済期日、決済手段及び決済に要する手数料の内容とその負担者について、取引額の多い上位1者のうち、取引額の多い上位１件について説明してください（輸入日を起算日とする場合、購入日から輸入日までの平均期間を記載してください。）。また、当該起算日の内容の根拠となる書類（コマーシャル・インボイス、受領証等）の写し１件を**添付資料F-2-18-2（F-2-3）**として提出してください（日本語訳を添付）。

輸出元名称：

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 決済期日の起算日 | 決済日 | 決済手段 | 決済に要した手数料の内容とその負担者 | その他例外事項等備考 |
| （記載例）  インボイスに記載の購入日 | 当月購入分を月末取りまとめて翌月15日までに決済 | T/T送金 | 送金手数料は当社負担 |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

## **様式F**の「F-2-19-1（支払通貨単位）」に関する事項 　支払う購入代金の通貨単位は、日本円でしたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 日本円以外の通貨単位 |  | 日本円　→　F-3へ |

　　 　　↓

### 購入代金を支払う際、日本円を支払通貨に換算するための、支払通貨単位、換算レートの適用基準日、換算レートの種類及び当該換算レートの種類を適用する理由について、具体的に説明してください。また、購入額の多い上位1取引のF-2-19-2（支払換算レート）、F-2-19-3（支払換算レート適用基準日）、F-2-19-4（支払換算レート種類）について、それぞれ、その内容の根拠となる書類の写し１件を**添付資料F-2-19-2（F-2-4-1）**、**添付資料F-2-19-3（F-2-4-1）**、**添付資料F-2-19-4（F-2-4-1）**として提出してください（日本語訳を添付）。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 支払通貨単位 | 換算レートの適用基準日 | 換算レートの種類 | 左記換算レートの種類を適用した理由 | その他例外事項等備考 |
| （記載例）  米ドル | 支払日 | TTS | 左記為替レートにて支払通貨を購入し、送金していたため。 | 2024年1月から2024年3月までは同期間における期間渡しで為替予約を行っており、レートは△△／USD |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

# 調整が必要な費用項目

F-3-0　　**様式F**への記入（F-3）

調査対象期間に貴社が生産又は輸出した調査対象貨物の全ての個別取引について、輸入取引に関して連合輸入者が負担した費用項目についての質問に回答してください。また、各質問項目のうち、**様式F**への記入が必要とされる項目については、下記の記載要領（F-3）（一般的事項及び費用項目）に従い、記入してください。

（記載要領（F-3）（一般的事項））

（①及び②は（F-2）と同じ）

① 全て半角英数字で記入し、数値を記入する際は通貨、数量等の単位を明記してください。

② 調査対象貨物の輸入取引1件が、複数回に分けて日本において輸入されるような場合には、**様式F**の行を追加するなどして、各取引段階における相関関係が分かるように記載してください。

③ 「F-3 調整が必要な費用項目」における各費用項目については内国間接税（調査対象貨物の販売に対して課される内国間接税を納付する際に、課税額から控除されるもの）抜きの本体価格としてください。

④ 根拠となる書類の写しの提出は、**様式F**に記入した取引のうちどの取引に係るものか分かるよう、**様式F**の取引番号を書類の上部中央に明記してください。

⑤ 費用の支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても書類の右肩に質問項目番号を明記して提出してください（日本語訳を添付）。

⑥この調査項目において、費用項目は、連合輸入者が支払うべき費用等についての回答を求めるものですので、**様式F**の記入に当たっては、特に以下の費用項目に注意し、生産者又は輸出者が負担すべき費用の額を記入することのないよう注意してください。生産者又は輸出者が負担すべき費用の額は、**様式B**に記入してください。

　F-3-13-1 　輸出税（連合輸入者が負担すべきもの）

　F-3-14-1 　国際運賃（連合輸入者が負担すべきもの）

　F-3-15 　国際保険料（連合輸入者が負担すべきもの）

　F-3-16 　日本国内における荷役・通関諸費用（連合輸入者が負担すべきもの）

　F-3-17-1 　輸入関税（連合輸入者が負担すべきもの）

　F-3-18 　輸入関税の払戻し（連合輸入者が受領したもの）

　F-3-19-1 日本の港から連合輸入者までの日本国内運賃（関連企業である輸入者が負担したもの）

（記載要領（F-3）（費用項目））

| 様式番号 | | 費用項目 | | 概　　要 | 記載要領 | |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| （購入価格に関連する項目） | | | | | | |
|  | | 割戻し（購入価格に係るもの） | | 「不当廉売関税の課税に関する調査への協力のお願い」【資料１】用語の定義（15）を参照のこと |  | |
|  | | 割引（購入価格に係るもの） | | 「不当廉売関税の課税に関する調査への協力のお願い」【資料１】用語の定義（16）を参照のこと |  | |
|  | | その他購入価格の修正 | | 例えば、仮価格で決済し、商品の引受後に確定した購入価格との差額を決済する場合等、事後に購入価格が修正される場合の当該精算額等 |  | |
|  | | 内国間接税 | | 調査対象貨物に対して輸出国において課せられた内国間接税 | 複数の内国間接税がある場合、適宜、欄を追加して記入 | |
| （引取までの保管等に要する費用に関連する項目） | | | | | | |
|  | | 倉庫保管費 | | 調査対象貨物が製造された後から輸出されるまでの間に要した倉庫等における保管費用 |  | |
|  | | 倉庫移動費 | | 調査対象貨物が製造された後、工場から倉庫に移動するために要した費用 |  | |
|  | | テスト・検査費 | | 輸入のための調査対象貨物のテスト・検査費 |  | |
| （引取に要する費用に関連する項目-主として輸出国内で発生する費用） | | | | | | |
| 1. -1 | | 梱包費用 | | 輸入のための梱包費用 |  | |
| 1. -2 | | 荷姿 | | 輸入時の荷姿 | 以下の区分により記入  A：ダンボール  B：木箱  C：天板  D：フープのみ  E：フープ及び紙包装  F：金属包装  G：その他の荷姿  「A」から「F」に該当しない場合、「A」から「F」に加え、他の梱包を行っている場合に荷姿の内容を「Gその他（荷姿名）」のように記入  複数ある場合は新しくコードを設け、同様に荷姿の内容を記入  （「G1その他（荷姿名）」、「G2その他（荷姿名）」）  ※Gがある場合は、コード表及び当該その他の荷姿の内容についての説明資料を**添付資料F-3-8-2**として提出してください。 | |
|  | | 国内運賃 | | 貴国内のF-2-12の引受場所から日本向け積出港までの運賃 |  | |
|  | | 国内保険料 | | 貴国内のF-2-12の引受場所から日本向け積出港までの運送に係る保険料 |  | |
|  | | 国内における荷役・通関諸費用 | | 貴国内における荷役・通関諸費用 |  | |
|  | | その他の国内輸送費用 | | 貴国内のF-2-12の引受場所から日本向け積出港への運送に付随したその他の国内輸送費用 |  | |
| 1. -1 | | 輸出税 | | 日本向け輸出に対する貴国内で実際に納付した輸出税額 |  | |
| 1. -2 | | 輸出申告番号 | | 輸出申告番号 |  | |
| 1. -1 | | 国際運賃 | | 貴国の積出港から日本の仕向港までの海上運賃又は航空運賃 |  | |
| 1. -2 | | 運送状の番号 | | B/L又はAWB等の番号 |  | |
|  | | 国際保険料 | | 貴国の積出港から日本の仕向港までの海上運送又は航空運送に係る保険料 |  | |
| （引取に要する費用に関連する項目-主として輸入国内で発生する費用） | | | | | | |
|  | | | 日本国内における荷役・通関諸費用 | 日本国内における荷役・通関諸費用 |  | |
| 1. -1 | | | 輸入関税 | 納税された関税額 | 日本円で記入 | |
| 1. -2 | | | 輸入許可日 | 輸入許可日 | 西暦YYYY年MM月DD日の場合、YYYY/MM/DDと記入 | |
| 1. -3 | | | 輸入申告番号 | 輸入申告番号 | 輸入許可通知書又は輸入申告書の右上に記載された輸入申告番号（11桁）を記入 | |
|  | | | 輸入関税の払戻し | 日本へ輸出された調査対象貨物について、一定の条件を満たすことにより、連合輸入者に対して払い戻された輸入関税の額 |  | |
| 1. -1 | | | 日本の港から連合輸入者までの日本国内運賃 | 日本の到着港（F-3-19-3に該当する場合は当該倉庫等）から連合輸入者までの運賃 |  |
| F-3-19-2 | | 日本国内の倉庫保管費 | 日本へ輸出された調査対象貨物を連合輸入者に引き渡すまでの間に要した倉庫保管費用 |  | |
| F-3-19-3 | | 日本国内の倉庫移動費 | 日本へ輸出された調査対象貨物を日本の到着港から倉庫まで移動するために要した費用 |  | |
|  | | 輸送に付随するその他の費用 | | 上記以外で貴国から連合輸入者までの輸送に付随するその他費用） |  |
| （その他費用） | | | | | |
|  | | その他費用 | | 他の質問項目で回答されていない費用で、調査対象貨物の購入に関連して要した費用 | 内容に応じ、適宜、欄を追加して記入 |

（注）１.　金額等を算出した場合には、小数点以下第3位を四捨五入し第2位まで表示してください。

　　　２.　 金額を記入する際には、最小通貨単位まで表示することとし、記入要領に通貨単位が指定されていない場合は、通貨単位が分かるように、ISO4217の通貨コード英字3桁（例：USD、CNY等）を、**様式F**の項目名の下に記入してください。

３.　貴国通貨以外で決済されている場合には適宜欄を追加して貴国通貨による金額及び換算レート等必要な事項を併記してください。

　　　４.　請求書等根拠となる資料に記載の通貨単位と実際に決済された金額の通貨単位とが異なる場合には実際に決済された金額に関して記入し、請求書等資料に記載の金額については適宜欄を追加して通貨単位、金額、換算レート、換算レート適用日、換算レート種類等必要な事項を併記し、当該換算についての説明資料を**様式F**の欄番号を明記して提出してください。

　　　５．　**様式F**の1つの欄を複数に分割する必要がある場合は、（欄番号）、(欄番号)-a、（欄番号）-bのようにして区分してください。

**（購入価格に関連する項目）**

## 割戻し（「不当廉売関税の課税に関する調査への協力のお願い」【資料１】用語の定義（15）を参照のこと） 以下の質問項目については、調査対象期間中の取引に係る全ての割戻しについて、 説明してください。（調査対象期間終了後に生じた当該取引に係る割戻しも含まれます。）

### 連合輸入者の調査対象貨物に係る輸入取引に関して、輸出元から受ける割戻しはありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-1-2へ |

　　　　　↓

#### 割戻しがなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-2へ

### **様式F**のF-3-1に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、割戻しの金額を原則、実費で記入してください（複数の割戻しがある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-1に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-1-3へ |

　　 　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、割戻し金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-1-3**として提出してください（日本語訳を添付）。また、割戻し元が非関連企業と取引した場合の割戻しとの比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（非関連企業に対する計算書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・割戻しに係る取決めの書面

・その他根拠となる資料

### 連合輸入者が受ける割戻し制度の概要及び割戻しを受ける際の基準（個々の取引数量、年間の購入数量等）について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に記入した輸入取引に関して、この回答書の作成日後に割戻しを受ける計画があれば、その対象となる基準について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### そのような割戻しの計画の内容を個別に説明してください｡

|  |
| --- |
|  |

### 連合輸入者がどの時点でこれらの割戻しの計画を知ったかを説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### どのような根拠に基づいて将来の割戻しの推定額を算出したのか説明してください｡

|  |
| --- |
|  |

## 割引（「不当廉売関税の課税に関する調査への協力のお願い」資料１．用語の定義（16）を参照のこと）

割引について、以下の質問項目に回答してください。

以下の質問項目については、調査対象期間中の取引に係る全ての割引について、 説明してください。（調査対象期間終了後に生じた当該取引に係る割戻しも含まれます。）

### 連合輸入者による調査対象貨物の輸入取引に関して、輸出元から受ける割引はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-2-2へ |

　　 　　↓

#### 割引がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-3へ

### **様式F**のF-3-2に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、割引の金額を原則、実費で記入してください（複数の割引がある場合、適宜、欄を追加して記入してください。実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-2に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-2-3へ |

　　　　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、割引金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-2-3**として提出してください（日本語訳を添付）。また、割引元が非関連企業と取引した場合の割引との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（非関連企業に対する計算書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・割引に係る取決めの書面

・その他根拠となる資料

### 連合輸入者の調査対象貨物に係る輸入取引に関して、割引に関する基準について説明してください。また、当該基準に係る規定（割引表等）があれば、**添付資料F-3-2-4**として提出してください（日本語訳を添付）｡

|  |
| --- |
|  |

## その他購入価格の修正 その他購入価格の修正について、以下の事項に回答してください。

### その他購入価格の修正（例えば、仮価格で決済し、商品の引受後に確定した購入価格との差額を処理する場合等、事後に購入価格が修正される場合の当該精算額等）がありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-3-2へ |

　　　　　　↓

#### その他購入価格の修正がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-4へ

### **様式F**のF-3-3に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、その他購入価格の修正の金額を原則、実費で記入してください（複数のその他購入価格の修正がある場合、適宜、欄を追加して記入してください。実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-3に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-3-3へ |

　　　　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、その他購入価格の修正の金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-3-3**として提出してください（日本語訳を添付）。また、連合輸入者が非関連企業と取引した場合との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（非関連企業に対する計算書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・その他購入価格の修正に係る取決めの書面

・その他根拠となる資料

### その他購入価格の修正について、全ての種類を列記してください。また、そのようなその他購入価格の修正を受ける輸出元の方針及び基準について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

## 内国間接税

### 連合輸入者による調査対象貨物の輸入取引に関して、輸出国において課せられる輸出に係る内国間接税を連合輸入者は納付していましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 納付無し |  | 納付有り →F-3-4-1-2へ |

　　　　　　↓

#### 納付が無かった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-4-2へ

#### その納付した全ての内国間接税を列記してください。

|  |
| --- |
|  |

#### 上記F-3-4-1-2の税の各々について、以下の情報を具体的に説明してください。また、それぞれの項目について、課税の根拠となる法令及び説明資料の日本語訳を**添付資料F-3-4-1-3**として提出してください。

内国間接税の名称：

|  |  |
| --- | --- |
| ①課税物件 |  |
| ②課税標準 |  |
| ③納税義務者 |  |
| ④非課税及び免税（ある場合には適用を受ける条件） |  |
| ⑤納税義務の成立 |  |
| ⑥税率 |  |
| ⑦税額控除（税の累積を排除するもの）の有無・その方法 |  |
| ⑧課税期間 |  |
| ⑨申告・納付（納付額の算出方法を含む） |  |
| ⑩納税先 |  |
| ⑪特例等 |  |
| ⑫会計処理 |  |
| ⑬その他 |  |

#### **様式F**のF-3-4に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、内国間接税額を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-4に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-4-1-6へ |

　　　　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

#### **様式F**に回答した取引のうち、内国間接税の金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-4-1-6**として提出してください（日本語訳を添付）。また、支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

　　　　＜根拠となる書類の写しの例＞

・内国間接税に係る請求書及び納付書

・その他根拠となる資料

#### **様式F**のF-3-4に記入した内国間接税について、減額、免除又は払戻しされたものがありましたか。当てはまるものにチェックしてください。なお、「有」と回答した場合には「F-2-16-2グロス購入価格」についても、減額、免除又は払い戻された分の内国間接税を控除してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 有 |  | 無 →F-3-4-1-10へ |

↓

#### 内国間接税について、どのような減額、免除又は払戻しがなされたのか説明してください。

|  |
| --- |
|  |

#### 連合輸入者が法的に内国間接税の納税義務を負う時点を説明してください。連合輸入者が実際に納税した時期を示し、それらの税について連合輸入者が会計上別の勘定科目を設けているかどうか、設けている場合にどのように会計処理を行っているか説明してください。

|  |
| --- |
|  |

#### 調査対象期間に、調査対象貨物の輸入取引に伴って課せられる内国間接税の税率又は税額は変更されましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 変更有り |  | 変更無し →F-3-4-2へ |

↓

#### 変更前後の税率又は税額、その適用開始日等、その変更内容を説明するとともに、変更の結果は調査対象貨物の購入価格にどのように反映させたか、また、**様式F**に記入した取引のうちどの取引について反映されたか、説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に記入する各費用項目に対して、連合輸入者による調査対象貨物の輸入取引に関して、輸出国において課せられるもの（上記F-3-4-1-2に記載したもの）と同一の内国間接税が課せられましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 課せられた |  | 課せられなかった →F-3-5へ |

↓

#### **様式F**の各費用項目に対して、当該課せられた内国間接税について、以下の情報を具体的に説明してください。また、それぞれの項目について、その根拠となる法令及び説明資料の日本語訳を**添付資料F-3-4-2-1**として提出してください。

内国間接税の名称：

内国間接税が課せられる、費用項目の名称：

|  |  |
| --- | --- |
| ①課税物件 |  |
| ②課税標準 |  |
| ③納税義務者 |  |
| ④非課税及び免税（ある場合には適用を受ける条件） |  |
| ⑤納税義務の成立 |  |
| ⑥税率 |  |
| ⑦税額控除の対象となるか否か |  |
| ⑧会計処理 |  |
| ⑨その他 |  |

**（引取までの保管等に要する費用に関連する項目）**

## 倉庫保管費

### 連合輸入者が支払うべき調査対象貨物に係る倉庫保管費用（調査対象貨物が製造された後から輸出されるまでの間に要した倉庫等における保管費用）はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有　→F-3-5-2へ |

↓

#### 倉庫保管費用がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

　　　　　　　　　→F-3-6へ

### **様式F**のF-3-5に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、倉庫保管費用を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-5に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-5-3へ |

↓

#### 

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、倉庫保管費が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-5-3**として提出してください（日本語訳を添付）。また、支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・倉庫保管費に係る契約書類

・倉庫保管費に係る請求書

・その他根拠となる資料

### 倉庫保管費用の内容について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

## 倉庫移動費

### 連合輸入者が支払うべき、調査対象貨物が製造された後、輸出するまでの間に工場から倉庫に移動するために要する費用はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-6-2へ |

↓

#### 倉庫移動に関する費用がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

　　　→F-3-7へ

### **様式F**のF-3-6に、連合輸入者等が行った個々の日本国内販売取引に関して、倉庫移動に関する費用を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-6に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-6-3へ |

↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、倉庫移動費が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-6-3**として提出してください（日本語訳を添付）。また、支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・倉庫移動費に係る契約書類

・倉庫移動費に係る請求書

・その他根拠となる資料テスト

## テスト・検査費

### 連合輸入者が支払うべき調査対象貨物の輸入に係るテスト・検査に関する費用はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-7-2へ |

↓

#### テスト・検査に関する費用がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

　　　→F-3-8へ

### **様式F**のF-3-7に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、テスト・検査に関する費用を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-7に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-7-3へ |

　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、テスト・検査費が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-7-3**として提出してください（日本語訳を添付）。また、支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・テスト・検査費に係る契約書類

・テスト・検査費に係る請求書

・その他根拠となる資料

### テスト・検査はどのようなものか、その内容（実施時期、実施機関、検査項目、検査方法及び費用の負担先を含む。）について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

**（引取に要する費用に関連する項目-主として輸出国内で発生する費用）**

## 梱包費用

### 連合輸入者が支払うべき調査対象貨物に係る商品の荷姿（ダンボール等）、荷姿の容量、梱包過程及び梱包材（フープ、木箱、金属包装等）等梱包に係る費用について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 連合輸入者が支払うべき梱包に係る費用はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-8-3へ |

　　　　　↓

#### 梱包に係る費用がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-9へ

### **様式F**のF-3-8-1に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、梱包費用を原則、実費で記入（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください）するとともに、**様式F**のF-3-8-2に荷姿のコードを記入してください。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-8-1に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-8-4へ |

　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、梱包費用が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-8-4**として提出してください（日本語訳を添付）。支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・梱包費用に係る契約書類

・梱包費用に係る請求書

・その他根拠となる資料

## 国内運賃

### 調査対象貨物に係る貴国内の輸送はどのように行っていたか説明してください（連合輸入者の輸送部門が行っていたか否か、輸送業者が連合輸入者の関連企業であったか否か、輸送区間及び輸送日数等）。

|  |
| --- |
|  |

### 連合輸入者が支払うべき国内運賃はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-9-3へ |

　　　　　↓

#### 国内運賃がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-10へ

### **様式F**のF-3-9に連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、国内運賃を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-9に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-9-4へ |

　　　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、国内運賃が多額の上位１取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-9-4**として提出してください（日本語訳を添付）。また、支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・国内運賃に係る契約書類

・国内運賃に係る請求書

・その他根拠となる資料

## 国内保険料

### 調査対象貨物に係る貴国内の保険について、どのような保険を付保していたのか説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 連合輸入者が支払うべき国内保険料はありますか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-10-3へ |

　　　　　↓

#### 国内保険料がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-11へ

### **様式F**のF-3-10に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、国内保険料の金額を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-10に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-10-4へ |

　　　　　↓

#### 

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、国内保険料が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-10-4**として提出してください（日本語訳を添付）。また、支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・国内保険料に係る契約書類

・国内保険料に係る請求書

・その他根拠となる資料

## 国内における荷役・通関諸費用

### 貴国内において日本へ調査対象貨物が輸出されるまでの間における国内荷役・通関をどのように行っていたか説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 連合輸入者が支払うべき国内荷役・通関諸費用はありますか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-11-3へ |

↓

#### 貴国内における荷役・通関諸費用がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-12 へ

### **様式F**のF-3-11に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、国内荷役・通関諸費用を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-11に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-11-4へ |

　　　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、国内荷役・通関諸費用が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-11-4**として提出してください（日本語訳を添付）。また、支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・国内荷役・通関諸費用に係る契約書類

・国内荷役・通関諸費用に係る請求書

・その他根拠となる資料

## その他の国内輸送費用

### 貴国内において日本へ調査対象貨物が輸出されるまでの間における、その他の国内輸送をどのように行っていたか説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 連合輸入者が支払うべきその他の貴国内輸送費用はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 有 |  | 無 →F-3-13へ |

↓

### **様式F**のF-3-12に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、その他の貴国内輸送費用を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-12に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-12-4へ |

　　　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、その他の国内輸送費用が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-12-4**として提出してください（日本語訳を添付）。また、支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・その他の国内輸送費用に係る契約書類

・その他の国内輸送費用に係る請求書

・その他根拠となる資料

## 輸出税（連合輸入者が支払うべきもの）

### 調査対象貨物に輸出税は課せられていましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 課税無し |  | 課税有り →F-3-13-2へ |

↓

#### 課せられていなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-14へ

### 連合輸入者が支払うべき課せられていた全ての輸出税を列記してください。また、各々の課税の根拠となる法令（課税対象、課税標準、税率、課税額の算出方法、税の減免・払い戻しについての条件・計算方法、課税の時期、算出税額の支払先、算出税額の支払時期、納税者、納税の時期、納税先等を説明する資料を含む。）の日本語訳を**添付資料F-3-13-2**として提出してください。

|  |
| --- |
|  |

### 上記F-3-13-2で回答された輸出税について、個々の調査対象貨物に関する以下の情報を回答してください。

輸出税の名称：

|  |  |
| --- | --- |
| ①課税対象 |  |
| ②課税標準 |  |
| ③税率 |  |
| ④課税額の算出方法 |  |
| ⑤税の減免・払戻しの有無（ある場合にはその計算方法） |  |
| ⑥課税の時期 |  |
| ⑦算出税額の支払先 |  |
| ⑧算出税額の支払時期 |  |
| ⑨納税者 |  |
| ⑩納税の時期 |  |
| ⑪納税先 |  |
| ⑫その他、上記を確認するために必要な事項 |  |

### 連合輸入者が法的に納税義務を負った時点を回答してください。また、連合輸入者が実際に納税した時期を示し、それらの税について連合輸入者が会計上別の勘定科目を設けているかどうか、設けている場合にどのように会計処理を行っているか説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**のF-3-13-1に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、輸出税額を原則、実費で記入（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）するとともに、**様式F**のF-3-13-2に当該輸出税に係る輸出申告番号を記入してください。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-13-1に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-13-6へ |

　　　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、輸出税が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-13-6**として提出してください（日本語訳を添付）。また、支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・輸出申告（許可）書

・輸出税に係る請求書及び納付書

・その他根拠となる資料

### 調査対象期間に、調査対象貨物の販売に伴って課せられる輸出税の税率又は税額は変更されましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 変更有り |  | 変更無し →F-3-14へ |

　　　　　↓

#### 変更前後の税率又は税額、その適用開始日等、その変更内容を説明するとともに、変更の結果を調査対象貨物の販売価格にどのように反映させたか、また、**様式F**に記入した取引のうちどの取引について反映させたか、説明してください。

|  |
| --- |
|  |

## 国際運賃（連合輸入者が支払うべきもの）

### 調査対象貨物に係る日本までの国際輸送（海上輸送又は航空輸送）はどのように行っていたか説明してください（連合輸入者の輸送部門が行っていたか否か、輸送業者が連合輸入者の関連企業であったか否か、輸送区間及び輸送日数等）。

|  |
| --- |
|  |

### 国際運賃（連合輸入者が支払うべきもの）はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無し |  | 有り →F-3-14-3へ |

↓

#### 国際運賃（連合輸入者が支払うべきもの）がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-15へ

### **様式F**のF-3-14-1に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、国際運賃（連合輸入者が支払うべきもの）を原則、実費で記入（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）するとともに、**様式F**のF-3-14-2に当該国際運賃に係るB/L等の運送番号を記入してください。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-14-1に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-14-4へ |

↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、国際運賃の金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-14-4**として提出してください（日本語訳を添付）。また、費用の支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・国際運賃に係る契約書類

・国際運賃に係る請求書

・その他根拠となる資料

## 国際保険料（連合輸入者が支払うべきもの）

### 調査対象貨物に係る国際保険について、どのような種類の保険を付保していたのか説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 国際保険料（連合輸入者が支払うべきもの）はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-15-3へ |

↓

#### 国際保険料（連合輸入者が支払うべきもの）がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-16 へ

### **様式F**のF-3-15に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、国際保険料（連合輸入者が支払うべきもの）を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-15に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-15-4へ |

　　　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、国際保険料の金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-15-4**として提出してください（日本語訳を添付）。また、費用の支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・国際保険料に係る契約書類

・国際保険料に係る請求書

・その他根拠となる資料

**（引取に要する費用に関連する項目-主として輸入国内で発生する費用）**

## 日本国内荷役・通関諸費用（連合輸入者が支払うべきもの）

### 日本国内において、調査対象貨物が輸入されるまでの間における荷役・通関をどのように行っていたか説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 日本国内荷役・通関諸費用（連合輸入者が支払うべきもの）はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-16-3へ |

↓

#### 日本国内荷役・通関諸費用（連合輸入者が支払うべきもの）がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-17 へ

### **様式F**のF-3-16に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、日本国内荷役・通関諸費用（連合輸入者が支払うべきもの）を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-16に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-16-4へ |

　　　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、日本国内荷役・通関諸費用の金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-16-4**として提出してください（日本語訳を添付）。また、費用の支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・日本国内荷役・通関諸費用に係る契約書類

・日本国内荷役・通関諸費用に係る請求書

・その他根拠となる資料

## 輸入関税（連合輸入者が支払うべきもの）

### 調査対象貨物に対して日本国において輸入関税（連合輸入者が支払うべきもの）は課せられていましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 課税無し |  | 課税有り →F-3-17-2へ |

　　　　　↓

#### 課せられていなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-18へ

### 当該輸入関税に係る関税の種類及び関税率並びに減税・免税がある場合にはその条件、減税額及び納付額の算出方法について、説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**のF-3-17-1に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、輸入関税（連合輸入者が支払うべきもの）を原則、実費（日本円）で記入（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）するとともに、**様式F**のF-3-17-2に当該輸入関税に係る輸入許可日を、**様式F**のF-3-17-3に当該輸入関税に係る輸入申告番号を記入してください。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-17-1に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-17-4へ |

　　　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、輸入関税の金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-17-4**として提出してください（日本語訳を添付）。また、費用の支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・輸入申告書又は輸入許可書

・輸入関税に係る請求書及び納付書

・その他根拠となる資料

## 輸入関税の払戻し（連合輸入者が受領すべきもの）

### 日本へ輸出された調査対象貨物について、一定の条件を満たすことにより、連合輸入者に対して払い戻される輸入関税はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 有 |  | 無 →F-3-19へ |

　　　　　↓

### 輸入関税の払戻しの制度を全て列記してください。また、各々の根拠となる法令（払戻しの条件、払戻し額の計算方法等を説明する資料を含む。）の日本語訳を**添付資料F-3-18-2**として提出してください。

|  |
| --- |
|  |

### 上記F-3-18-2の輸入関税の払戻しについて、払戻し額を算出する計算方法を説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**のF-3-18に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、輸入関税の払戻し（連合輸入者が受領すべきもの）の金額を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-18に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-18-5へ |

　　　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、輸入関税の払戻しの金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-18-5**として提出してください（日本語訳を添付）。また、費用の支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・輸入申告又は輸入許可に係る払い戻し書面

・輸入関税の払い戻しに係る入金明細

・その他根拠となる資料

## 日本の港から連合輸入者までの日本国内運賃（連合輸入者が支払うべきもの）

### 調査対象貨物に係る日本の港（日本の港から他の倉庫等に保管した後、連合輸入者が引き取った場合は当該倉庫等）から連合輸入者までの輸送はどのように行っていたか説明してください（連合輸入者の輸送部門が行っていたか否か、輸送業者が連合輸入者の関連企業であったか否か、輸送区間及び輸送日数等）。

|  |
| --- |
|  |

#### 日本国内運賃（連合輸入者が支払うべきもの）はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-19-1-3へ |

↓

#### 日本国内運賃（連合輸入者が支払うべきもの）がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-19-2へ

#### **様式F**のF-3-19-1に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、日本国内運賃（連合輸入者が支払うべきもの）を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-19-1に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-19-1-5へ |

↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

#### **様式F**に回答した取引のうち、日本国内運賃の金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-19-1-5**として提出してください（日本語訳を添付）。また、費用の支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・日本国内運賃に係る契約書類

・日本国内運賃に係る請求書

・その他根拠となる資料

### 連合輸入者が支払うべき調査対象貨物に係る倉庫保管費用（調査対象貨物が製造された後から輸出されるまでの間に要した倉庫等における保管費用）はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有　→F-3-19-2-2へ |

　　　　　↓

#### 倉庫保管費用がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

→F-3-19-3へ

#### **様式F**のF-3-19-2に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、倉庫保管費用を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-19-2に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-19-2-4へ |

　　　　　↓

#### 

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

#### **様式F**に回答した取引のうち、倉庫保管費の金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-19-2-4**として提出してください（日本語訳を添付）。また、支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

#### 倉庫保管費の内容について説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### 連合輸入者が支払うべき、調査対象貨物を日本の到着港から倉庫まで移動するために要した費用はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 無 |  | 有 →F-3-19-3-2へ |

↓

#### 倉庫移動に関する費用がなかった理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

　　　→F-3-20へ

#### **様式F**のF-3-19-3に、連合輸入者等が行った個々の日本国内販売取引に関して、倉庫移動に関する費用を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-19-3に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-19-3-4へ |

　　　　　↓

#### 

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

#### **様式F**に回答した取引のうち、倉庫移動費の金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-19-3-4**として提出してください（日本語訳を添付）。また、支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・倉庫移動費に係る契約書類

・倉庫移動費に係る請求書

・その他根拠となる資料

## 輸送に付随するその他の費用

### 上記 F-3-5（倉庫保管費）からF-3-19（日本の港から連合輸入者までの日本国内輸送費用（連合輸入者が支払うべきもの））まで以外で、連合輸入者が支払うべき貴国から連合輸入者までの輸送に付随するその他の費用はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 有 |  | 無 →F-3-21へ |

　　　　　↓

### それはどのような費用か説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**のF-3-20に、連合輸入者による調査対象貨物の個々の輸入取引に関して、輸送に付随するその他の費用を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-20に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-20-4へ |

↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、輸送に付随するその他の費用の金額が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-20-4**として提出してください（日本語訳を添付）。また、費用の支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・輸送に付随するその他の費用係る契約書類

・輸送に付随するその他の費用に係る請求書

・その他根拠となる資料

**（その他の費用）**

## その他費用

### 連合輸入者が支払うべき費用のうち、上記の費用項目でまだ述べていないもので、輸入取引に関連して要した費用はありましたか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 有 |  | 無 →F-3-22へ |

　　　　　↓

#### 連合輸入者による調査対象貨物の輸入取引に関連して要したその他費用には、どのような費用があったのか説明してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**のF-3-21に、連合輸入者による調査対象貨物の全ての輸入取引に係る取引ごとのその他費用を原則、実費で記入してください（実費で記入できない場合は、按分で算出し、記入してください。）。また、次の当てはまるものにチェックしてください。

**様式F**のF-3-21に記入した金額は、

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 按分 |  | 実費 →F-3-21-3へ |

　　　　　↓

①実費で記入できない理由を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

②按分の考え方及びその計算式を記載してください。

|  |
| --- |
|  |

### **様式F**に回答した取引のうち、 その他費用が多額の上位1取引につき、根拠となる書類の写し、及び按分の場合には按分計算に使用したワークシートを**添付資料F-3-21-3**として提出してください（日本語訳を添付）。また、費用の支払先が関連企業であった場合は、非関連企業と取引した場合の費用金額との比較において、その相違の有無・程度について説明する書類及びその根拠となる書類（業務の詳細や費用金額が記載された非関連企業が発行する請求書等）の写しについても提出してください（日本語訳を添付）。

＜根拠となる書類の写しの例＞

・その他費用に係る契約書類

・その他費用に係る請求書

・その他根拠となる資料

**（費用項目についてのまとめ）**

## **様式F**に記入した費用項目について、輸出元ごとに区分してその支払先について、**様式F-3-22**に記載してください。なお、企業グループとしての回答を行う場合は、各費用の支払者の名称についても記載してください。

### **様式F**に記入した費用項目のうち、調査対象貨物が他の貨物と混載で輸送された等、根拠資料と個々の取引とが一対一で対応せず、根拠資料に記載された金額をある一定の基準により、個々の取引に関する額へ配賦していますか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 配賦している |  | 配賦していない　→　F-3-22-2へ |

　　　　　↓

#### 配賦している費用項目及びその配賦基準（価格、数量等）を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 配賦している費用項目名 | 配賦基準（価格、数量等） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

### **様式F**に記入した費用項目のうち、一定の基準や条件に基づく割戻しや割引等により、その費用の額が後日修正される費用項目はありますか。当てはまるものにチェックしてください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 有 |  | 無 |

　　　　　↓

#### 費用の額が修正される費用項目及びその修正の基準・条件を記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 費用の額が修正される費用項目名 | その修正基準・条件 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |